

オンラインで参加の皆さまへお願い

●表示名を「お名前／団体（あれば）」に変更

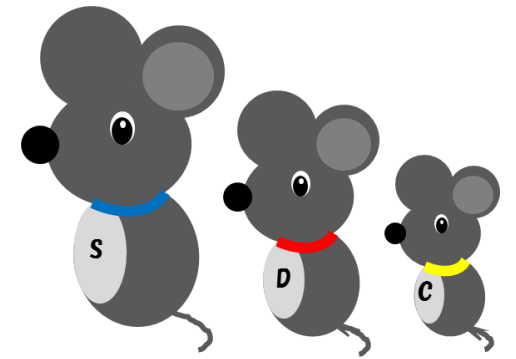
例：所属のある方 深谷／中原区役所

所属の無い方 田中

※やり方の分からない方はお声をかけてください。

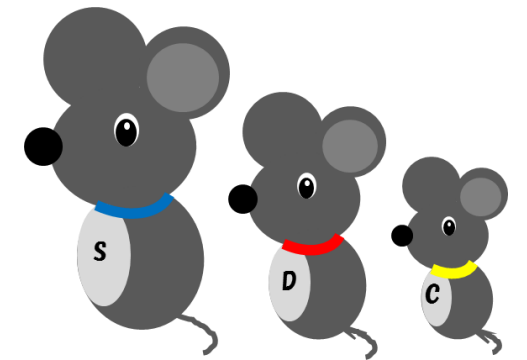
●ミュートでお願いします。

●可能な限りカメラをオンで御参加ください



御参加の皆さまへ

- 会場・オンラインとともに記録用に録画・録音を行っておりますのでご了解ください。今後広報等で利用する場合がありますので利用不可の方は区役所職員へお申し出ください。



中原区ソーシャルデザインセンター準備会

令和4年7月21日（木）

中原区を知りたい

情報発信したい

仲間とつながりたい

地域課題にチャレンジしたい



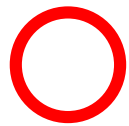
本日の流れ

1. 中原区ソーシャルデザインセンターについて
2. 各グループの状況報告
3. 新規アイディアの提案
4. 運営チーム状況報告
5. グループごとの意見交換・交流
6. 意見交換内容の報告
7. その他（次回の日程等）

1. 中原区ソーシャルデザインセンターについて

ソーシャルデザインセンターとは・・・

地域で**新しい活動**や価値を**生み出す基盤**
(プラットフォーム)



- ・ コミュニティ活動の基盤
- ・ 地域主体（地域住民）
- ・ 資源を持ち寄る、
自主財源を探す
- ・ コミュニティの基盤
づくりに必要なこと



コミュニティ活動
行政（区役所）
行政からの補助金

活動場所

検討経過

- ・興味・関心のあることで参加できる自由参加の場
- ・参加者がそれぞれの資源を持ち寄り運営
- ・「知る」「集う」「つながる」を実践
- ・場所は中原市民館ラウンジ（条件有）、オンライン上の場も作る

をたたき台として検討

- ・区民説明会（7月16日 39名参加）
- ・意見交換会（8月20日～12月17日 計5回 延べ参加者数94人）
- ・検討会（1月21日～3月18日 計5回 延べ参加者数60人）
- ・こすぎの大学主催：中原区ソーシャルデザインセンター
検討ワークショップ（10月23日、11月6日）



機能案

○情報収集・発信

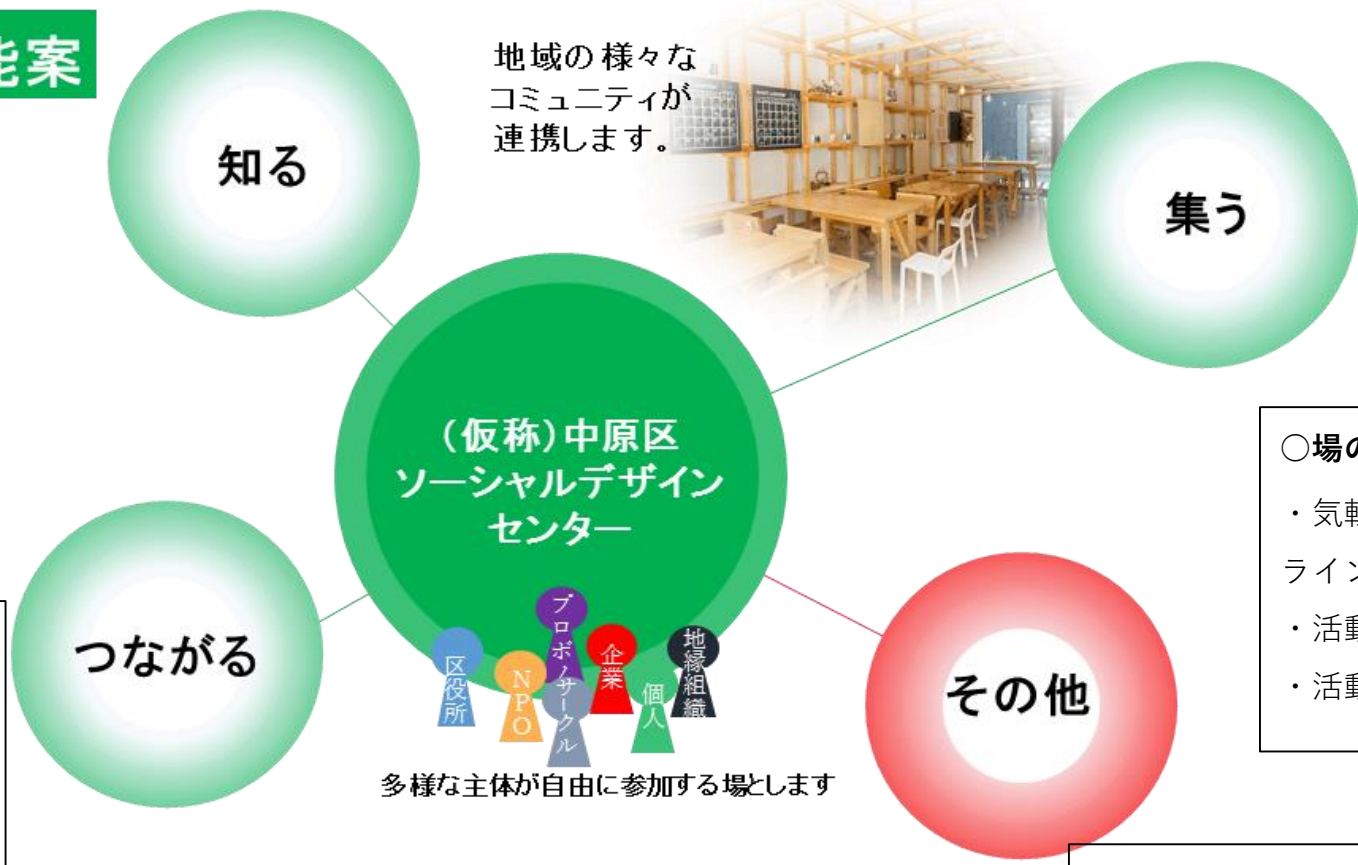
- ・発信したい人が集まり、メディアへ情報提供をする
- ・情報へアクセスできる場・媒体を作る（何でも情報SNS、区の情報気軽に聞ける場、地域課題カタログ）

○マッチング・コーディネート

- ・「人」と「人や情報」をマッチングする
- ・コーディネートを行う（コーディネーターがいる、リンクワーカーがつながる場、コラボ生まれる新しい場を作る）

○中継点（HUB）

- ・地域情報や団体間のHUBとなる



○場の提供

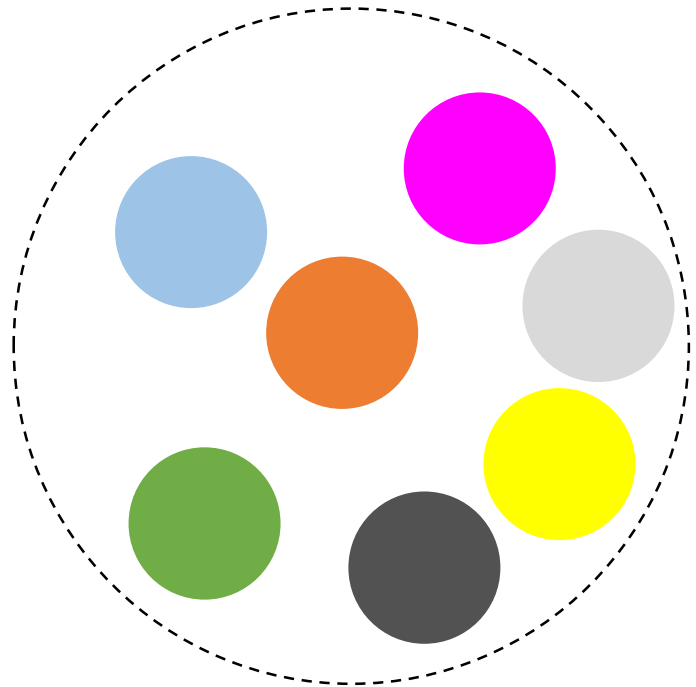
- ・気軽に集える場（リアルとオンライン）を作る
- ・活動や人がつながる場を作る
- ・活動場所の提供

○活動支援

- ・ファーストステップ支援、伴走サポート
- ・スタート時の資金調達支援
- ・試行する機会の提供

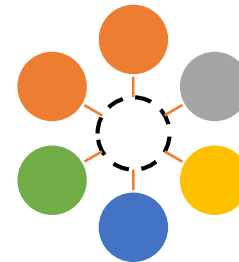
中原区役所はメンバーとして区役所の持っている資源の提供(実施場所の利用許可(減免)、事業の共催、運営検討会の企画など)を通じて関わります

中原区SDCのイメージは・・・

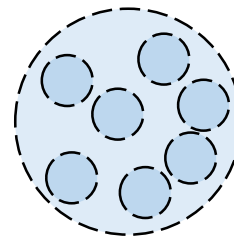


ゆるい繋がりのイメージ

- ・各取組（団体・個人など）をルールだけでゆるくつながる（例：月1回の定例会で進捗確認する）



- ・事務局が各取組の連絡調整を行う



- ・1つの団体が各取組含むすべてを直接行う（例：幸区、多摩区のSDC）

検討されたSDCの方向性について

運営方法

できる人たちで役割を持ち回り

運営費

まずは費用のかからない取組から始める

場所

常設はしない

区役所か市民館でスタート

既存の取組との関係性

すでにある団体や取組にSDCのコンセプトに類似しているものもある

そのような団体（活動）も巻き込みながら進めていく

活動の始め方

スモールスタート
小さなアクションから広げていく

Slackでの日常の意見交換



Yoriai (定例会) ※イメージ



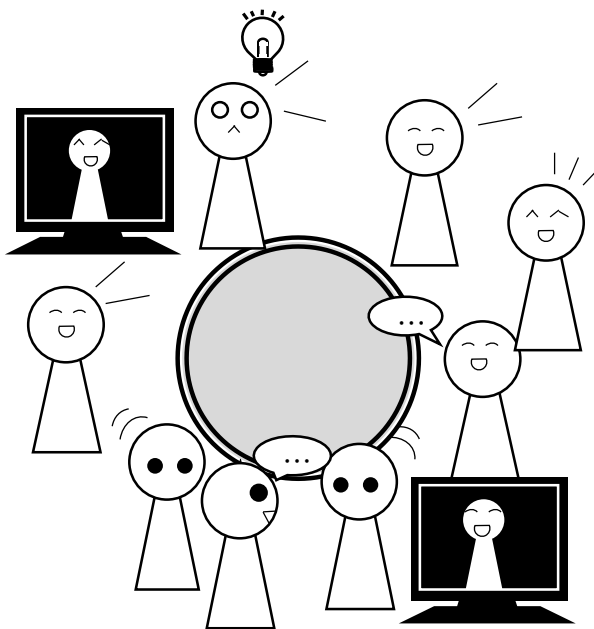
- サークル活動
- ・超ローカルかわら版
 - ・なかはら盛り上げ隊





中原区SDC

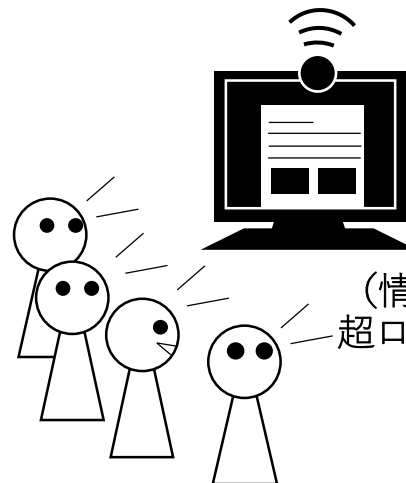
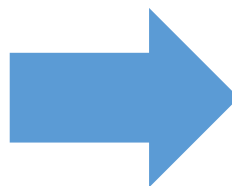
- ① “YORIAI” (定例会)
→運営グループ及び企画ごとに
グループ持ち回りで実施



- ・なかはら宝さがし隊
- ・市民活動団体交流会
- ・課題チャレンジワーク など

- ② 分科会 (機能を実践するサークル)
→企画ごとに任意に集った参加者で実施

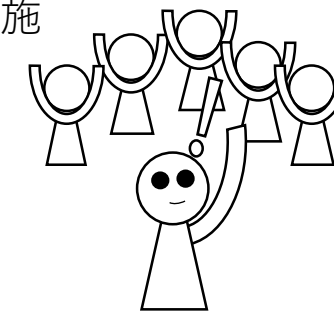
生み出す



(情報発信)
超ローカルかわら版

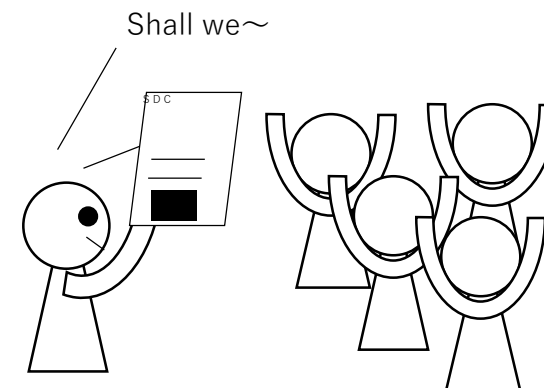
その他
企画

その他
企画



(連携・仲間づくり)
なかはら盛り上げ隊

- ③ 加入促進活動
勧誘、声掛け、PR活動など
→参加者全員で実施



2. 各グループの状況報告

YORIAI (定例会)

課題チャレンジグループ
一瀬 さん

<課題チャレンジチーム 報告内容>

① 課題チャレンジT 開催予定セミナー紹介

中原区SDC 課題チャレンジチーム

「ウィッシュ/スキル棚卸講座」 事前説明用資料

セカンドライフ支援研究会 代表 葉倉峰雄

- ✓ 2時間（1回）セミナーを開催 ※ できる範囲で事前課題に着手
- ✓ 内容について、講師の葉倉さんからご説明
「〇〇したい！」という何より強い“Wish”の力と「〇〇できる」という“Skill”の見える化と、地域社会の“Needs”に対応する形への落とし込み
- ✓ 本日の準備会終了後、Slackにて受講希望者・希望日時のアンケート実施

② 課題チャレンジT イベント紹介



- ✓ 2022/7/23（土）18:30～ 井田山にて“YORUBE（寄る辺/夜辺）の会”開催
「井田山を盛り上げたい」という地域課題に対する貢献プロジェクトです
- ✓ 内容について、“超”ローカルかわら版_中原SDC 参照
昆虫大好きな子供たち & 都会の喧騒から離れてゆっくり話したい大人 大歓迎
- ✓ 2022/9/25（日）里山作業体験を企画
企画に参加してみたい方はお声がけください！

YORIAI (定例会)

なかはら宝さがし隊グループ

すぎのめ
杉妻 さん

Nakahara's Treasure Expedition Team

7/15 情報共有・意見交換会



2022年7月15日

なかはら宝さがし隊チーム会

地域の宝をさがし、宝の地図で、区民のやってみたいを応援

宝をさがす

地域にある強みや魅力、みんなの暮らしに役立つモノ・コト・ヒトを探す
例. 子ども食堂やご近所の凄い人、地域にあったら良いまだ無い宝など

宝の地図をつくる

地域にある宝を、宝の地図でみんなが見えるようにする
例. 英語を教えてくれる・教えられる場所、フードドライブ一覧など

やってみたいを応援

私らしく何か地域でやってみたい
そんな思い実現の一助となるように



情報共有. その1

■ 宝さがし・宝の地図づくりの進め方(素案)

- Step1. お互いを知る、チームづくり 7月
- Step2. 宝の地図を設計する 8月
- Step3. 宝の情報を集める 9月、10月
- Step4. 宝の地図をカタチにする 11月、12月
- Step5. 宝の地図を整えて公開する 1月、2月、3月

■ 小さく始めてみる

- 上記スケジュールに先行して、スモールスタートしてみる
- 10月末までに、地図を1つプロトタイピングする

情報共有. その2

■ 宝の地図の事例について

- みんなでつくる中原区地区カルテ

<https://www.city.kawasaki.jp/nakahara/page/0000116076.html>

中原区を5地区に分け、地域情報と、情報をもとに地域の特徴や課題等を分析した内容をまとめたもの

みんなでつくる
中原区地区カルテ

【対象】
大井町区 (P 2. ~ P 1.4.)
小田原区 (P 1.5. ~ P 2.3.)
矢野地区 (P 3.0. ~ P 3.6.)
荻窪地区 (P 3.8. ~ P 4.5.)

令和3年3月



想いを集めて未来を描こう
10年後に向けた望ましい私の暮らし

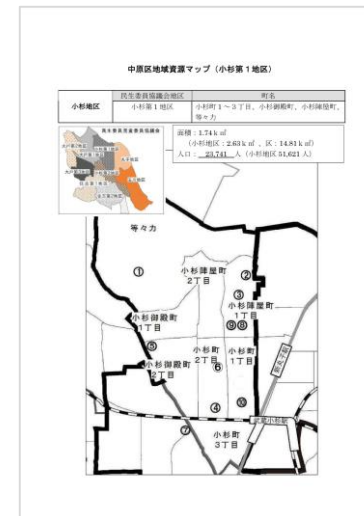
自分の未来のイメージを思い描き、それを描き出す。それは、未来の自分に向けてのメッセージです。

意味

- ・ 仕事以外の時間、趣味とつながることを考えてほしい
- ・ 趣味を続けたい
- ・ 子供の成長、健康の続くか喜びや期待
- ・ 暮らしている場所を愛して、自分たちを大切にしたい
- ・ 10年後は88歳、中国語を習得してほしい
- ・ コースを始めて25年、歌ってほしい
- ・ サウナの施設に足湯も追加してほしい
- ・ 料理が今でも好き、食べること大好き、10年後も作りたい
- ・ 趣味お菓子づくりの楽しさを伝える
- ・ みんなと遊んで暮らしたい、作った料理でおいしい料理をつくって食べたい
- ・ 月に1回は友達と飲み会をしてみたい
- ・ 趣味が増えている、即売会の中で作りクラブにいる
- ・ 趣味に没頭を少し減らして、音楽、バスケに集中して暮らしたい
- ・ 趣味の仲間（友達、習いごと、趣味仲間など）をほしい
- ・ 野菜作りをしてみたい
- ・ 家庭菜園や草花の育てが出来る
- ・ 空いた時間に地元の施設で活動をする暮らし
- ・ 自分の家で好きな場所へ好きな時に遊びたい
- ・ 音楽を聴きたい
- ・ 趣味の仲間と旅行したい
- ・ 趣味の仲間と旅行したい
- ・ 趣味の仲間と旅行したい

学び・成長

- ・ 今と同じことができるよう努力している
- ・ 趣味の仲間、個人練習センターに通っている
- ・ 一人になった時、男性の料理教室で自分の得意料理を披露したい
- ・ 月に1回は手芸の達人と交流をしてみたい
- ・ 趣味の仲間、趣味がきっかけで新しい出会いがある
- ・ スペイン語が話せる（やる気が湧いてくる）
- ・ みかん作り（畑）に挑戦したい
- ・ サウナに、おしめかけしたい
- ・ 趣味の仲間と旅行したい
- ・ マジックにコツを教える（体が元気であれば）
- ・ 趣味の仲間と旅行したい



番号	施設名	名称	属性
①	等々力こいのぼり広場	いこいの広場広場	場
		パンジー体験教室	
		ももいろくらぶ	
		こいのぼり広場	
		でんぱうらし	
		でんぱうらし運動会委員会	
		市民会館建設用地	場
②	中野中学校	つとむまがわ	校
		子育てサロンこすぎ	子
③	小杉第1丁目公園	おだまき公園	公
④	小杉二丁目公園	おだまき公園	公
⑤	中野身体障害者福祉会館	こすぎようき館	館・障
⑥	小杉小学校	本郷小学校	校
⑦	小杉こえスペース	本郷小学校	校
⑧	—	サルスーデック	館
⑨	—	おだまき	館
⑩	—	本郷	館

※属性：①施設内の分類、②建物の種類、③子育てサロン、④障がい者施設、⑤障がい者施設

意見交換内容

■ 地図について、掲載する情報について

- 地図の対象読者となる、区民の人たちが地図に何を求めているか？
- 地図の対象読者となる、区民の人たちがワクワクする情報は何か？

- 掲載情報は、(自分たちの)活動紹介にとどまらない工夫が必要
- 読者が、私はこんな参加・協力ができるかもと思えると良い

- 地図がつなげること、つながるきっかけになることが大事
- 私と宝、私とまち、私の自己実現、私の生活課題解決

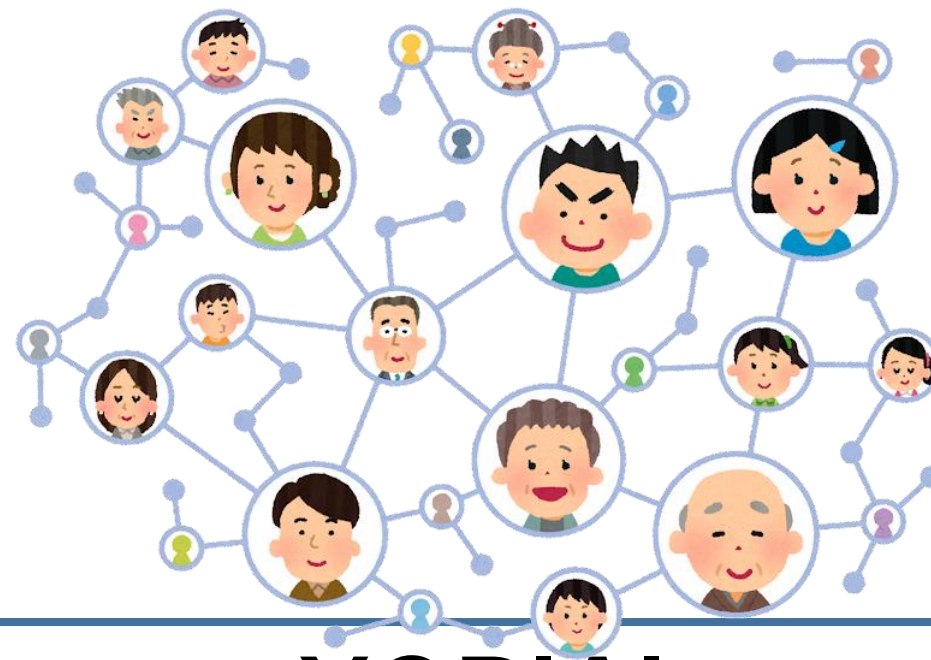
- 掲載情報は、フォーマルな情報だけでなく
- 区民にしか発信できないインフォーマルな情報が載っていると良い
- 行政だと(公平性の観点から)知っていても載せられない情報がある

YORIAI (定例会)

交流会グループ
横井 さん

3. 新規アイデアの提案

4. 全体運営チーム状況報告



市民団体や個人
サークル活動

YORIAI

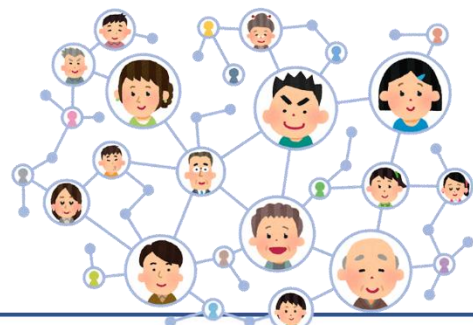
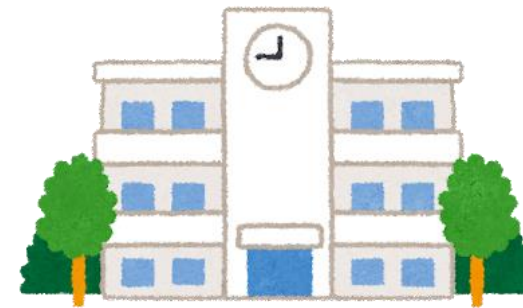
なかはら宝探し隊
グループ

交流会
グループ

課題チャレンジ
グループ

中原SDC運営

「学校」に見立てると・・・



市民団体や個人
サークル活動

部活動

YORIAI

生徒総会

なかはら宝探し隊
グループ

交流会
グループ

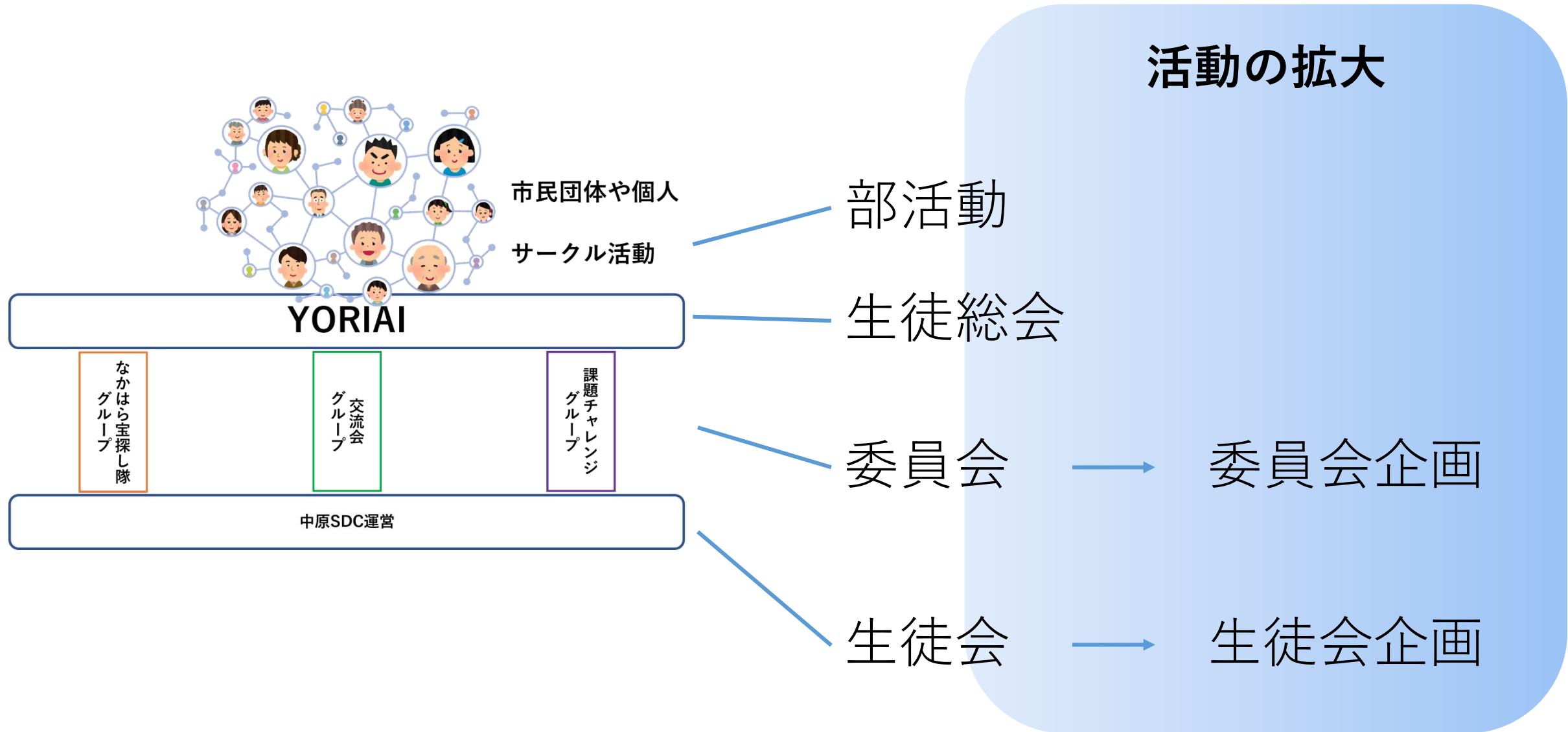
課題チャレンジ
グループ

委員会

中原SDC運営

生徒会

「学校」に見立てると・・・



地域おせっかい会議 雲南

毎月1回おせっかい人が集い、住民さんのやりたい「おせっかい」に対して参加者で話し合いアイデアを出し合ったり、人を繋げたり、仲間をつくったりする。

= YORIAIのモデルに

私のやりたい「おせっかい」
に対してグループでアイデア
を出し合う。

こんなアイデアは
どう？



一緒にやるよ！



こんな人知ってるよ！



YORIAIの利用（例：30代男性）

①他県から転居してきたんだけど、子育てについて相談できるパパの会みたいなのほしい・・・

②お隣さんの紹介でYORIAIに参加

→「じゃあ、一緒にパパ会作ってみます？」

③「集まる場所は市民館で良い？」「子供も一緒に参加できる環境つくろう（協力するよ）」「ラジオで呼びかけて仲間増やそうよ」「〇〇さんの取り組みと一緒にやったら、もっと面白くなりそう！（紹介するよ）」

④数か月後のYORIAIで報告：「そのパパ会に参加の紹介をしたい人がいる」



では、具体的にこの「パパ会を作りたい30代男性」が、中原区SDCと「どうやってつながって、実現できるか？」を考えながら仕組みを考えてみましょう。



ヒアリング

SDCの窓口

窓口担当から連絡

SDC運営G

企画案として提出

各グループ

YORIAI

実現までの伴走



YORIAIの運営方法（案）と検討課題

①YORIAIの開催頻度と分担

（案）月1～2回。事前に相談案・企画案提出。

例：「窓口に〇〇さんという方から相談が入っているので検討したい」「7月は交流会グループで1時間、〇〇の企画します」
→もし相談案・企画案が出なかった場合も、各グループからの報告会＋意見交換会として1回/月は開催する

（検討課題）

- ・ 企画案提出は各グループ「持ち回り制」とするか？
- ・ 相談案や企画案の運営Gへの提出方法は？ Slack上？

YORIAIの運営方法（案）と検討課題

①YORIAIの開催頻度と分担

	例1	例2
18:00~19:00	交流会G企画 ○○○○ →講演やワークショップなど	相談事例検討 ○○○○ →「やりたい!」「困っている」人と、 「こういう案は?」「それならこの人を紹介するよ」のマッチングと伴走
19:00~20:00	各G報告会+交流 「今月の○○Gの活動は・・・」 「来月は○○を企画して・・・」	

- ・ 毎月第○週・第○曜日が定期 + 臨時OK で月1~2回
- ・ 企画案提出は前日まで?

YORIAIの運営方法（案）と検討課題

②YORIAIの窓口

（案）中原区役所はじめ、まちの各所でYORIAI（SDC）の窓口機能を分担する（例：暮らしの保健室、まきまきキッチン）

→SDCの窓口一覧と、「つながり方」について案内するチラシを、市報や転入者への案内などに入れて周知

→いずれは中原市民館に常設の窓口を設置したい

（検討課題）

- ・メールや電話での窓口は設定可能か？
- ・窓口で相談を受け取った人＝その後も担当者？それだと窓口を開いたところの負担が大きくなりすぎるかも？

YORIAIの運営方法（案）と検討課題

③YORIAIの団体化

（案）任意団体として規約を作り、団体住所は中原区役所内に置かせてもらう。

→企画によっては予算が必要なものも出てくるため銀行口座を作りたい

（検討課題）

- ・ 代表者および会計担当を誰にするか？
- ・ 規約の内容をどうするか？ → 方向性決まったら作ります

5. グループごとの意見交換内容・交流会

～会議室移動～

課題チャレンジG	→	503会議室（そのまま）
なかはら宝さがし隊G	→	403会議室
交流会G	→	なかはらっぱ

6. 各グループ意見交換内容まとめ報告

7. その他（次回日程）

日時：令和4年8月17日(水) 18:30～

会場：中原区役所・オンライン

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって開催方法が変更になる場合があります。

<問い合わせ> 中原区役所企画課 電話：044-744-3149(平日8:30~17:00)

F A X : 044-744-3340 メール：65kikaku@city.kawasaki.jp